

令和6年度 事務事業評価表（ 令和5年度実績 ）

事務事業名		県議会議員選挙事務費				担当所属	選挙管理委員会事務局		
基本情報	分野	9 都市経営			事業期間	令和4年度 ～ 令和5年度			
	基本施策	2 適正かつ透明な行政運営の推進			会計種別				
	推進施策	6 その他			実施計画		総合戦略		
事業概要	対象	周南市民							
	意図	公正な選挙							
	成果	山口県議会議員選挙の適正な執行							
	手段	任期満了に伴う山口県議会議員選挙の適正な管理執行 任期満了日：令和5年4月29日 投票日：令和5年4月9日							
指標	活動指標	指標名			単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込
		選挙執行回数		目標値	回	0	0	1	0
				実績値	回	0	0	1	-
				目標達成度	%	-	-	100.0	-
コスト	(単位：千円)		令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算		
	トータルコスト		0	0	22,224	41,517	0		
	事業費		0	0	15,018	37,882	0		
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	13,972	37,882	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		受益者負担	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	1,046	0	0		
	人件費合計		0	0	7,206	3,635	0		
	正職員		0	0	7,206	3,635	0		
	正職員以外		0	0	1,294	1,707	0		
	(事業費集計済分)		(0)	(0)	(1,294)	(1,707)	(0)		
人員	正職員 (人)	0.00	0.00	1.00	0.50	0.00			
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.73	0.70	0.00			
環境変化等	開始時の周辺環境								
	任期満了に伴う山口県議会議員一般選挙								
	現状の周辺環境								
	定数 周南市選挙区において5名								
評価	今後の予想される周辺環境								
	妥当性	評価項目		評価	評価の理由				
		1. 市の関与（税金支出）		A	法令に基づく市の実施事業である。				
2. 事務事業の目的（対象・意図）		A							
3. 事務事業の目標（活動指標等）		A							
有効性	4. 計画の実施状況		A	法令に基づき適正に実施できた。					
	5. 目標（活動指標等）の達成度		A						
	6. 上位施策への貢献度		B						
	7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		B						
効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		A	執行計画に基づき、効率的に事務を行った。					
	9. 類似事業との統合・代替の検討		A						
	10. これまでの実施手段		A						
総合評価	A	法令により、立候補受付事務から開票まで市が実施することとされている。							
改革案	今後の実施方向性	維持							
	成果方向性	成果維持							
	コスト方向性	コスト維持							
	改革効果（どのような効果が期待できるか）								
適正かつ公正な選挙の執行。									

令和6年度 事務事業評価表 （ 令和5年度実績 ）

事務事業名		市議会議員選挙事務費			担当所属	選挙管理委員会事務局		
基本情報	分野	9 都市経営		事業期間	令和5年度 ～ 令和6年度			
	基本施策	2 適正かつ透明な行政運営の推進		会計種別				
	推進施策	6 その他		実施計画		総合戦略		
事業概要	対象	周南市民						
	意図	公正な選挙						
	成果	周南市議会議員一般選挙の適正な執行						
	手段	市議会議員一般選挙の適正な管理執行 任期満了日：令和6年6月19日 投票日：令和6年5月26日						
指標	活動指標	指標名		単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込
		選挙執行回数	目標値	回	0	0	0	1
			実績値	回	0	0	0	-
			目標達成度	%	-	-	-	-
コスト	(単位：千円)		令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	
	トータルコスト		116,566	0	0	17,138	166,526	
	事業費		98,678	0	0	5,143	132,357	
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		98,678	0	0	5,143	132,357	
	人件費合計		17,888	0	0	11,995	34,169	
	正職員		17,888	0	0	11,995	34,169	
	正職員以外		2,728	0	0	513	4,777	
(事業費集計済分)		(2,728)	(0)	(0)	(513)	(4,777)		
人員	正職員 (人)	2.50	0.00	0.00	1.65	4.70		
	正職員以外 (人)	0.65	0.00	0.00	0.47	7.67		
環境変化等	開始時の周辺環境							
	任期満了に伴う周南市議会議員一般選挙							
	現状の周辺環境							
	定数30人							
	今後の予想される周辺環境							
評価	評価項目		評価	評価の理由				
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）	A	法令に基づく市の実施事業である。				
		2. 事務事業の目的（対象・意図）	A					
		3. 事務事業の目標（活動指標等）	A					
	有効性	4. 計画の実施状況	A	法令に基づき適正に実施できた。				
		5. 目標（活動指標等）の達成度	A					
		6. 上位施策への貢献度	B					
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	B					
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み	A	執行計画に基づき、効率的に事務を行った。				
		9. 類似事業との統合・代替の検討	A					
10. これまでの実施手段		A						
総合評価	A	法令により市が実施することとされている。						
改革案	今後の実施方向性	維持						
	成果方向性	成果維持						
	コスト方向性	コスト維持						
	改革効果（どのような効果が期待できるか）							
適正かつ公正な選挙の執行。								

令和6年度 事務事業評価表 （ 令和5年度実績 ）

事務事業名		市議会議員補欠選挙事務費			担当所属	選挙管理委員会事務局		
基本情報	分野	9 都市経営		事業期間	令和4年度 ～ 令和5年度			
	基本施策	2 適正かつ透明な行政運営の推進		会計種別				
	推進施策	6 その他		実施計画		総合戦略		
事業概要	対象	周南市民						
	意図	公正な選挙						
	成果	市議会議員補欠選挙の適正な執行						
	手段	周南市議会議員の辞職に伴う周南市議会議員補欠選挙の適正な管理執行 告示日：令和5年4月16日 投票日：令和5年4月23日						
指標	活動指標	指標名		単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込
		選挙執行回数	目標値	回	0	0	1	0
			実績値	回	0	0	1	-
			目標達成度	%	-	-	100.0	-
コスト	(単位：千円)		令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	
	トータルコスト		0	0	3,102	18,780	0	
	事業費		0	0	1,300	15,145	0	
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	1,300	15,145	0	
	人件費合計		0	0	1,802	3,635	0	
	正職員		0	0	1,802	3,635	0	
	正職員以外		0	0	0	0	0	
	(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
人員	正職員 (人)	0.00	0.00	0.25	0.50	0.00		
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
環境変化等	開始時の周辺環境							
	議員辞職に伴い、市議会議員の欠員が生じたことによる補欠選挙							
	現状の周辺環境							
	定数1人							
	今後の予想される周辺環境							
評価	評価項目		評価	評価の理由				
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）	A	法令に基づく市の実施事業である。				
		2. 事務事業の目的（対象・意図）	A					
		3. 事務事業の目標（活動指標等）	A					
	有効性	4. 計画の実施状況	A	法令に基づき適正に実施できた。				
		5. 目標（活動指標等）の達成度	A					
		6. 上位施策への貢献度	B					
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	B					
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み	A	執行計画に基づき、効率的に事務を行った。				
		9. 類似事業との統合・代替の検討	A					
10. これまでの実施手段		A						
総合評価	A	法令により、市が実施することとされている。						
改革案	今後の実施方向性	維持						
	成果方向性	成果維持						
	コスト方向性	コスト維持						
	改革効果（どのような効果が期待できるか）							
適正かつ公正な選挙の執行。								

令和6年度 事務事業評価表（ 令和5年度実績 ）

事務事業名		市長選挙事務費			担当所属	選挙管理委員会事務局				
基本情報	分野	9 都市経営		事業期間	令和4年度 ～ 令和5年度					
	基本施策	2 適正かつ透明な行政運営の推進		会計種別						
	推進施策	6 その他		実施計画		総合戦略				
事業概要	対象	周南市民								
	意図	公正な選挙								
	成果	周南市長選挙の適正な執行								
	手段	周南市長選挙の適正な管理執行 任期満了日：令和5年5月24日 投票日：令和5年4月23日								
指標	活動指標	指標名			単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込	
		選挙執行回数		目標値	回	0	0	1	0	
				実績値	回	0	0	1	-	
				目標達成度	%	-	-	100.0	-	
コスト	(単位：千円)		令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算			
	トータルコスト		0	0	6,933	44,892	0			
	事業費		0	0	1,528	39,803	0			
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0			
		県支出金	0	0	0	0	0			
		地方債	0	0	0	0	0			
		受益者負担	0	0	0	0	0			
		その他	0	0	0	0	0			
		一般財源	0	0	1,528	39,803	0			
	人件費合計		0	0	5,405	5,089	0			
	正職員		0	0	5,405	5,089	0			
	正職員以外		0	0	0	1,833	0			
	(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(1,833)	(0)			
人員	正職員 (人)	0.00	0.00	0.75	0.70	0.00				
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.40	0.00				
環境変化等	開始時の周辺環境									
	任期満了に伴う周南市長選挙									
	現状の周辺環境									
	定数1人									
評価	今後の予想される周辺環境									
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）		A	法令に基づく市の実施事業である。					
		2. 事務事業の目的（対象・意図）		A						
		3. 事務事業の目標（活動指標等）		A						
	有効性	4. 計画の実施状況		A	法令に基づき適正に実施できた。					
		5. 目標（活動指標等）の達成度		A						
		6. 上位施策への貢献度		B						
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		B						
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		A	執行計画に基づき、効率的に事務を行った。					
		9. 類似事業との統合・代替の検討		A						
		10. これまでの実施手段		A						
	総合評価	A	法令により市が実施することとされている。							
	改革案	今後の実施方向性		維持						
		成果方向性		成果維持						
		コスト方向性		コスト維持						
		改革効果（どのような効果が期待できるか）								
	適正かつ公正な選挙の執行。									

令和6年度 事務事業評価表 （ 令和5年度実績 ）

事務事業名		衆議院議員補欠選挙事務費			担当所属	選挙管理委員会事務局		
基本情報	分野	9 都市経営		事業期間	令和5年度 ～ 令和5年度			
	基本施策	2 適正かつ透明な行政運営の推進		会計種別				
	推進施策	6 その他		実施計画		総合戦略		
事業概要	対象	周南市民						
	意図	公正な選挙						
	成果	衆議院山口県第2区選出議員補欠選挙の適正な執行						
	手段	衆議院山口県第2区選出議員の辞職に伴う衆議院山口県第2区選出議員補欠選挙の適正な管理執行 告示日：令和5年4月11日 投票日：令和5年4月23日						
指標	活動指標	指標名		単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込
		選挙執行回数	目標値	回	0	0	1	0
			実績値	回	0	0	1	-
			目標達成度	%	-	-	100.0	-
コスト	(単位：千円)		令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	
	トータルコスト		0	0	2,002	9,510	0	
	事業費		0	0	200	6,966	0	
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	200	4,756	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	2,210	0	
	人件費合計		0	0	1,802	2,544	0	
	正職員		0	0	1,802	2,544	0	
	正職員以外		0	0	0	408	0	
	(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(408)	(0)	
人員	正職員 (人)	0.00	0.00	0.25	0.35	0.00		
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.12	0.00		
環境変化等	開始時の周辺環境							
	議員辞職に伴い衆議院山口県第2区選出議員の、欠員が生じたことによる補欠選挙（熊毛地域が対象）							
	現状の周辺環境							
	定数1人							
	今後の予想される周辺環境							
評価	評価項目		評価	評価の理由				
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）	A	法令に基づく国政選挙である。				
		2. 事務事業の目的（対象・意図）	A					
		3. 事務事業の目標（活動指標等）	A					
	有効性	4. 計画の実施状況	A	法令に基づき適正に執行できた。				
		5. 目標（活動指標等）の達成度	A					
		6. 上位施策への貢献度	B					
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	B					
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み	A	執行計画に基づき、効率的に事務を行った。				
		9. 類似事業との統合・代替の検討	A					
10. これまでの実施手段		A						
総合評価	A	法令に従い、適正に実施することとされている。						
改革案	今後の実施方向性	維持						
	成果方向性	成果維持						
	コスト方向性	コスト維持						
	改革効果（どのような効果が期待できるか）							
適正かつ公正な選挙の執行。								

令和6年度 事務事業評価表（ 令和5年度実績 ）

事務事業名		選挙管理事務費			担当所属	選挙管理委員会事務局			
基本情報	分野	9 都市経営		事業期間	～ 永年				
	基本施策	2 適正かつ透明な行政運営の推進		会計種別					
	推進施策	6 その他		実施計画		総合戦略			
事業概要	対象	周南市民							
	意図	選挙環境の向上							
	成果	適正かつ公正な選挙の執行							
	手段	定例選挙管理委員会の開催、永久選挙人名簿・在外選挙人名簿の閲覧事務、滞在地及び船員の不在者投票事務、検察審査員候補者及び裁判員候補者の選定など							
指標	活動指標	指標名		単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込	
		定例選挙管理委員会開催数		目標値	回	12	12	12	12
				実績値	回	12	12	12	-
				目標達成度	%	100.0	100.0	100.0	-
コスト	(単位：千円)		令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算		
	トータルコスト		10,350	7,736	7,804	7,393	7,503		
	事業費		2,122	2,054	2,039	2,304	2,196		
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	3	3	8	7	9		
		地方債	0	0	0	0	0		
		受益者負担	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
	一般財源		2,119	2,051	2,031	2,297	2,187		
	人件費合計		8,228	5,682	5,765	5,089	5,307		
	正職員		8,228	5,682	5,765	5,089	5,307		
	正職員以外		0	0	0	0	0		
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			
人員	正職員 (人)	1.15	0.80	0.80	0.70	0.73			
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
環境変化等	開始時の周辺環境								
	公職選挙法及び地方自治法等に基づき選挙等に係る事務を行う。								
	現状の周辺環境								
	公職選挙法及び地方自治法等に基づき選挙等に係る事務を行う。								
環境変化等	今後の予想される周辺環境								
	社会情勢の変化等に伴う関係法令の改正等がなされる。								
評価	評価項目		評価	評価の理由					
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）	A	法令により実施している事業である。					
		2. 事務事業の目的（対象・意図）	A						
		3. 事務事業の目標（活動指標等）	A						
	有効性	4. 計画の実施状況	A	法令により事務を遂行した。					
		5. 目標（活動指標等）の達成度	A						
		6. 上位施策への貢献度	B						
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	A						
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み	A	法令により適正に事務執行している。					
		9. 類似事業との統合・代替の検討	A						
		10. これまでの実施手段	A						
	総合評価	A	法令により市が担う事務を実施している。						
改革案	今後の実施方向性	維持	引き続き、執行経費の最適化と、公正公平な選挙管理を遂行していく。						
	成果方向性	成果維持							
	コスト方向性	コスト維持							
	改革効果（どのような効果が期待できるか）			公正公平で適正な選挙の執行。					

令和6年度 事務事業評価表（ 令和5年度実績 ）

事務事業名		選挙常時啓発事業費			担当所属	選挙管理委員会事務局			
基本情報	分野	9 都市経営		事業期間	～ 永年				
	基本施策	2 適正かつ透明な行政運営の推進		会計種別					
	推進施策	6 その他		実施計画		総合戦略			
事業概要	対象	周南市民							
	意図	選挙への関心を高め、投票率の向上に寄与							
	成果	投票率の低い傾向にある若年層をはじめ、有権者の選挙に対する意識の醸成							
	手段	新たに有権者となる 1 8 歳、児童生徒等への啓発、明るい選挙推進協議会の開催等							
指標	活動指標	指標名		単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込	
		出前授業等開催数		目標値	回	3	3	3	3
				実績値	回	0	1	5	-
				目標達成度	%	0.0	33.3	166.7	-
コスト	(単位：千円)		令和 2 年度 決算	令和 3 年度 決算	令和 4 年度 決算	令和 5 年度 決算	令和 6 年度 予算		
	トータルコスト		7,690	4,263	5,044	4,422	5,793		
	事業費		177	1	0	60	195		
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		受益者負担	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
		一般財源	177	1	0	60	195		
	人件費合計		7,513	4,262	5,044	4,362	5,598		
	正職員		7,513	4,262	5,044	4,362	5,598		
	正職員以外		0	0	0	0	0		
	(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
人員	正職員 (人)	1.05	0.60	0.70	0.60	0.77			
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
環境変化等	開始時の周辺環境								
	投票率向上を目的とした啓発事業を実施。								
	現状の周辺環境								
	法改正により平成 2 8 年 6 月から選挙権年齢が満 1 8 歳以上の者に引き下げられたことにより、若年層の選挙に対する意識醸成が必要となっている。								
環境変化等	今後の予想される周辺環境								
	若年層をはじめとした投票率向上への取組みの継続。								
評価	評価項目		評価	評価の理由					
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）		A	選挙への関心を高め、投票率の向上に寄与する事業である。				
		2. 事務事業の目的（対象・意図）		A					
		3. 事務事業の目標（活動指標等）		B					
	有効性	4. 計画の実施状況		A	選挙啓発として、市内高校で出前トークを実施し、また、高校・大学に選挙公報を配布した。				
		5. 目標（活動指標等）の達成度		A					
		6. 上位施策への貢献度		B					
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		B					
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		B	啓発活動や出前トークの内容の充実を図る。				
		9. 類似事業との統合・代替の検討		A					
1 0. これまでの実施手段		B							
総合評価	B	近年、若年層をはじめ、全国的に投票率の低下傾向が続いている。そのため、啓発手法の研究や改善を図りながら、継続して啓発活動に取り組む。							
改革案	今後の実施方向性	維持							
	成果方向性	成果維持							
	コスト方向性	コスト維持							
	改革効果（どのような効果が期待できるか）								
次世代を担う若年層の選挙に対する意識の醸成を図り、投票率の向上に寄与する。									